

第一部国際協力分科会（第24期・第3回）議事要旨

日時：2018年8月7日（火）15：00～17：00

会場：日本学術会議 5-C（3）会議室

出席：町村、齋藤、栗田、大沢、羽場、広渡、藤原、矢沢、西條（スカイプ）、青木（スカイプ）、杉原（スカイプ）【以上、敬称略】

議題

(1) 前回議事要旨（案）の確認

第2回分科会の議事要旨が提示され、確認された。

(2) ISC 設立総会および今後の対応について

2018年7月3～5日にパリで開催されたISC設立総会の模様につき、参加した町村委員、齋藤委員から報告がなされた。総会で行なわれた役員選出、ISCの今後に関するシンポジウムの様子、Regional Office for Asia and Pacificの活動の見通し等が紹介された。また次回のISC総会開催地はオマーンに決定したことが報告された。

その後、意見交換が行われ、役員選出のプロセス、選出にあたりアカデミー代表とユニオン（学会）代表の票が占める比率の問題、ISCの活動において今後も社会科学系のプレゼンスを適切に確保・発展させていく必要性等について議論した。本分科会も引き続き、ISCの社会科学分野に関わる活動に対して国際委員会ISC等分科会とも連携しながら協力していくことが確認された。

(3) WSSF 福岡開催について

2018年9月25日～28日に福岡で開催予定のWSSF (World Social Science Forum) 大会につき、齋藤委員、杉原委員から準備状況等について報告があった。

(4) CIPSH への対応について

CIPSH(国際哲学人文学会議)に日本学術会議が会員団体として参加することに向けての議論を行なった。CIPSHに関する藤原委員から報告・紹介を受けて意見交換を行ない、同会議の性格や意義、人文科学分野での国際協力促進の重要性に鑑みて、前向きに取り組む方針が確認された。同時に、日本学術会議の国際的学術団体への参加状況全体のサーヴェイ・分析や、今後の方針を長期的視野から議論することも必要であり、それに基づいて第一部全体として取り組みを進めていくべきことが確認された。

(5) その他

AASSREC（アジア社会科学研究協議会連盟）の次回総会が、2019年10月にベトナム・ハノイで開催予定であることが紹介され、必要な対応を取っていくことが確認された。

次回の分科会日程（11月下旬から12月前半を予定）や、分科会メンバーのWSSFへの参加予定等について議論した。